

書きにくい枠は、他の先生方に相談して、一緒に考えてみましょう。

### 本人・担任が 困難に思っていること

本人：漢字の読み書きが苦手。  
教科書を読むことが苦手。  
担任：文字の読み書きが極端に苦手。  
音読することを嫌がる。

太線枠に記入しましょう。  
その他の枠は、気が付いたときや話し合って書き込みましょう。  
※空欄があっても良い

#### それは、いつ、どこで、どれくらいあるの？

国語の時間以外でも、算数の文章題が苦手だったりする。音読することを嫌がる。教科書を読む時は、1字ずつ確かめるように読んでおり、時々間違えてしまう。

#### なぜ、そのことが起こるのか？(どんなとき?)

塾に通ったり家庭で母親と学習したりするなど努力しているが効果が上がらない。LDの可能性が考えられる。

## 子どもの様子

#### コミュニケーションは？

問題ない。同級生の友だちと仲良く会話したり遊んだりしている。

#### 好きなこと、得意なことは？

野球や外遊びが好き。運動が得意。  
虫が好きで、いろいろな虫の名前を知っている。

#### 指示を理解している・実際に行える？

理解して行動できる。

#### 嫌いなこと・苦手なことは？

絵を描くことが苦手。  
はさみを使って線に沿って切ることが苦手。整理整頓が苦手。

4年 1組  
E さん  
について

#### 学習面は？

話を聞いて、内容を理解することはよくできる。  
考える力はある。

#### 友達は？(友人関係等)

誰とでも仲良くできる。

#### 本人の思い・願い

漢字がうまく書けるようになりたい。

#### 保護者の思い・願い

読み書きがうまくできるようになってほしい。

#### 家庭での様子は？(お手伝い・余暇・学習等)

音読の宿題をやりたがらない。

#### その他

### コーディネーターや他の先生方と話し合ったこと

つまずきの状況、その原因等について検討し、適切な学習支援の方法等を見つけていくことが必要。学級では本人の学習に対する負担を減らし、個別指導の時間を設けていく必要がある。LDが疑われるので、いずれは専門機関との連携が必要ではないか。

#### 必要な支援は？

- ・ 日常の観察を通して、つまずきの状況等について把握し、適切な学習支援の方法、配慮事項等を見つける。
- ・ 個別指導の時間を確保する。
- ・ 学習に対する負担を減らすとともに、よりよい行動をした時や課題を達成できた時等に褒める等して、自己肯定感を高める。

#### 支援を行ってどうだった？(評価)

- ・ つまずきの状況、原因がはっきりしない。
- ・ 担任だけでは個別指導の時間の確保が難しい。
- ・ 本人の負担を減らしたことで、授業中、落ち込むことが減ってきた。

#### 今後どのような支援が必要か？

- ・ つまずきの状況、原因把握のため、保護者の理解を得て、検査を実施する。
- ・ 校内体制を組んで個別指導の時間を確保する。
- ・ 関係職員の共通理解の下、課題達成に向けて支援し、自信を持たせる。